

第5回伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉再建検討委員会 議事録

日時：令和4年1月12 9:00～

場所：伊方町庁舎6階大会議室

1. 開会（事務局）

ただいまから第5回伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉再建検討委員会を開催いたします。まず委員長より挨拶を申し上げます。

2. 委員長あいさつ

令和4年に入って最初の会議ということで改めまして明けましておめでとうございます。本年も引き続きよろしく願いをいたします。再建検討委員会でございますが、今回で第5回ということで、3月末を目指して進めております仮営業の関係ですね、順調に進めておりますのでその進捗状況を委員の皆様にご報告をさせていただくとともに寄付についても温かい志をかなりいただいております。また、昨年12月には委員の皆様にご視察を四万十の宿、それからぼぼ温泉、クアテルメ宝泉坊、こういったところを知っていただきました。その結果についても報告をさせていただきます。また、今後の重要なテーマであります本施設の建設に向けた設計関係のプロポーザルを現在実施しております、書面審査の方を終了し、最終審査に残りました6件について今回外部委員の皆様それから役場の皆様に審査委員となっただき、それからアドバイザーに審査委員となっただき、審査をしていただくということになっております。その要領につきましてご説明をさせていただけたらと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 議事

（事務局）続きまして議事に移りますが、これよりの議事進行につきましては、本委員会設置要綱に基づきまして、委員長が行うこととなっております。委員長よろしく願いいたします。

（議事1）仮営業に係る進捗について

（議長）それでは早速ではございますが、議題の方に入らせていただきます。まず議題（1）仮営業に係る進捗につきまして、事務局より報告をお願いいたします。

（事務局）それでは1ページをお開きください。議題1「仮営業に係る進捗について」説明させていただきます。本年度内の仮営業を目指し、昨年12月に各種工事の入札及び契約を行い、復旧工事を進めております。項目として、一つ目は、温浴棟内部復旧工事で堀田建設株式会社伊方支店が45,430,000円で落札。二つ目は、温浴棟設備復旧工事を有限会社中村電気商会が33,947,100円で落札。三つ目は、配管設備復旧工事で有限会社竹場建設が33,770,000円で落札して令和4年3月21日の完了を目指して復旧工事を行っております。

本工事全て完了後に準備が整い次第、仮営業を開始する運びとなります。また、下部の写真については1月6日現在の上空からの写真となっております。現場事務所及び工事関係車両が入っている状況となります。仮営業に係る進捗について事務局からの説明は以上です。

(議長) ただいま、仮営業に係る進捗について説明がありましたけれども、ご質問等ございませんでしょうか。

※質問等なし

それでは続きまして(2) 寄付状況について説明をお願いいたします。

(議事2) 寄付状況について

(事務局) それでは資料2ページをお開きください。議題2「寄付状況について」説明させていただきます。前回委員会報告時は11/8時点で224件、約930万円でしたが、1/11時点で371件、約1,380万円の寄附金が集まっております。寄付状況について事務局からの説明は以上です。

(議長) 一般の寄付以外にクラウドファンディングも行っておりまして、目標額150万円に対して220万円ですね。ご寄付をいただいているというところでございます。本件についてご質問等はございませんか。

(委員A) 寄付金ですが、これはいつまで受け付けるとかそういったのは決まっているのですか。

(議長) 総務課長の方、ありますか。

(総務課長) ふるさと納税の中でありますクラウドファンディングにつきましては、当初3ヶ月の目標で12月31日までの目標で寄付を募りまして、こういう結果でございました。クラウドファンディングについては今後も仮営業に向けてのファンドを募集するかどうかは現在検討中でございます。前向きに実施する方向で検討はしておきます。実はふるさと納税につきましては、節税対策が主なというか、そういったところがございます。12月が金額多いんですけども、伊方の場合はふるさと納税の返礼品がせとかなど柑橘品が出てきます。そういったところでクラウドファンディングについては今後も検討していくというところでございます。以上です。

(議長) 前回のクラウドファンディングの期間は90日間。

(総務課長) 90日間、3ヶ月です。

(議長) 第1回のクラウドファンディングについては3ヶ月間として12月31日で終了しております。総務課長が言ったように仮営業に向けてクラウドファンディングを再度行うかどうかについて検討をしているというところでございます。あと一般の寄付については。

(総合政策課長) ここにもありますけれども、現在口座を4つの金融機関で開設しております。金額につきましてはご覧のとおりでございますけれども、考え方としては年度内を考えております。仮営業に向けた工事の進捗もございまして、新年度からの仮営業というところも目指しているというところもございまして、年度内は寄付を受け付けるという考えで今のところは進めております。

(議長) それでは次の議題に移らさせていただきます。(3) 視察について報告をお願いします。

(議事3) 視察について

(事務局) それでは資料3ページをお開きください。議題3「視察について」報告させていただきます。先般、12月13日から12月14日にかけて亀ヶ池温泉のより良い再建を検討するため、各委員さん及び再建検討委員会ワーキンググループの計8名で西予市、高知県四万十市、松野町の関連施設を視察させていただきました。まず、西予市のクアテルメ宝泉坊では、公設民営施設として、収支状況や市からの指定管理料について調査を目的としました。施設は、西予市の施設で、運営は株式会社ありがとうサービスが行っており、指定管理者制度ではないとのことでした。宿泊施設は約30部屋で利用者は7割が県内かつ市外の方だそうです。また、リピーターがいる要因としては、静か・自由・リラックスできるということが要因であるとのことでした。施設の支配人からは宿泊が無ければ利益は取れないとのことでした。次に高知県四万十市にある四万十の宿では、再建計画でも挙げているプランCに近いこともあり、宿泊施設の検討材料を目的としました。宿泊棟はクアテルメと同様に30部屋あり、稼働率は約7割、利用者の大半は観光客とのことでした。指定管理料はゼロ、利益の一部を市に還元されております。宿泊料は15,000円〜でやはり宿泊が無ければ利益は取れないとのことでした。最後に松野町にある森の国ぼっぼ温泉では、木質バイオマスガス化ボイラーの設備の導入検討を目的としました。令和元年末時点で薪ボイラーによる経費削減額は約190万円。これは灯油価格の変動により、削減率も変わってきますが、灯油が安くなれば削減効果はより少なくなるということです。また、薪ボイラー導入にも灯油、薪代、人件費、維持管理費用が発生してきます。今回の視察を経て、2施設からご説明をいただきましたが、やはり収益の要としては、宿泊事業あると感じました。事務局からの説明、報告は以上です。

(議長) ただいまの説明について、ご質問等ございませんか。

※質問等なし

それでは続きまして(4)愛媛大学による施設再建支援の取組について事務局より説明をお願いします。

(議事4) 愛媛大学による施設再建支援の取組について

(事務局) それでは資料4ページをお開きください。愛媛大学による施設再建支援の取組について説明させていただきます。第3回の検討委員会では口頭でのみ説明をさせていただきました。本事業は亀ヶ池温泉の復興の機運醸成の一環として、各種事業を行っていただくものとなっております。一つ目は、亀ヶ池温泉に関する写真パネルの巡回展示で、町内外の施設で行う計画をされておりますが、現在、大学側で調整されております。二つ目は、再建ミーティングで、伊方町出身の愛媛大学生や他大学生が三崎高校生と亀ヶ池温泉の今後について意見交換を行うこととなっております。再建ミーティ

ングは2月5日（土曜日）に三崎支所内で開催される予定です。本事業については、内容決定後、可能な限り情報発信を行います。事務局からの説明は以上です。

（議長）本件について、ご質問等ございませんか。

※質問等なし

それでは続きまして（5）整備工事設計、今回の本施設のプロポーザルの件についてでございますが、その設計業務審査会について事務局より説明をお願いします。

（議事5）整備工事設計業務審査会について

————— 審査会に係る内容のため省略 —————

（議長）それでは以上を持ちまして第5回亀ヶ池温泉再建検討委員会を終了させていただきます。